

2017年5月吉日

## 北タイのアカ族村バーン・ボン集落への水浄化器施設支援

二本松ロータリークラブ

国際奉仕委員長：野地トヨ子

二本松ロータリークラブの国際奉仕活動事業として、北タイ・アカ族の極貧困村バーン・ボン集落で暮らす200人程の村人に対して、山奥の湧水を通す長さ3kmのパイプを村まで引き、ステンレス製のタンク1基を設置、ろ過浄水装置を通して飲料水として利用できる設備を施設されました。

私達は、先月4月1日より現地に出向き贈呈式を行ってまいりました。住路険悪な道約60km、たどり着いたバーン・ボン村にピカピカの大きなステンレスタンクが目に入り、うれし涙がこみ上げてきました。

昨年に続き本年度も水支援を行ったわけですが、北タイは異常な水不足地帯で、飲み水が枯渇してしまうことがよくあるとのこと。今回の水支援においても村人たちの笑顔と大歓迎の様子に、感謝と感動の時を過ごさせていただきました。

しかしながら、現地の厳しい現状を目の当たりにしたわけですが、村人への命の水が届けられたことに、今後引き続き支援活動が必要であると思うのと同時に、WCS資金の浄財も必要であると感じています。そして、支援するに当たり、しっかり現地に出向いて確認することも大切であると考えます。

「百聞は一見に如かず」自分の足で自分の目で、現地に出向くことの大事さを常に訴えていきたいと思っております。

国際奉仕活動は、行動を起こしてこそ意義があるものと思います。今後とも国際ロータリアンの一員として、世界平和のため、一人でも多くの方が幸せになることを願いつつ、活動に参加・実行してまいりたいと思います。

最後になりますが、今回の支援活動に対しまして、会員皆様のご理解ご協力を賜り深く感謝申し上げます。大変ありがとうございました。

以上